

技能实习Life（生活）

年末年初の過ごし方

这次来介绍日本的年末年初的度过方式。

12月31日被叫做「大年三十」，这一天的晚上也被叫做「除夕」，各地寺庙都会敲响「除夕钟声」。按照佛教的思想，认为人有108个烦恼，传说为了消除这些烦恼所以敲108次钟。

还有在大年三十吃「过年荞麦面」的习惯。有诸多说法，据说是因为荞麦面又细又长，有延长运气和寿命的意思。

话说回来，在除夕钟声和过年荞麦面之前必须要做的是「大扫除」。为了迎接岁神，将自己的房间和公司，包括平时不打扫的地方都进行彻底打扫。

新年里，大多数日本人都是和家人、亲朋好友悠闲度过的。在这期间家人一起娱乐的项目里，有一种「纸牌游戏」。玩法很简单，一人说出读牌的内容，其他人迅速地找出与内容相应的纸牌，最终以取得纸牌的多少来决定胜负。

纸牌的题材多种多样，其中「伊吕波纸牌」最为古典，有名。读牌里写有相当于现在的五十音图「あいうえお」的「伊吕波47个文字」对应的谚语，取牌上画有与读牌谚语相关的图画和第一个字母大写的谚语的开头文字。这种纸牌游戏，即使是小孩子在玩几次后也会记住上面的文字和谚语。大家也一边玩纸牌游戏一边学日语如何？自己制作纸牌或者去书店等找纸牌都可以。

技能実習Life

年末年始の過ごし方

今回は日本の年末年始の過ごし方をご紹介します。

12月31日は「大晦日」と呼ばれ、この日の夜のことを「除夜」ともいい、各地のお寺で「除夜の鐘」が撞かれます。仏教の思想では、人間には108つの煩惱があるとされ、それをはらうために108回鐘を鳴らすようになったといわれています。

大晦日には「年越し蕎麦」を食べる習慣もあります。諸説ありますが、細く長い蕎麦を食べて運や寿命を延ばすという意味だそうです。

ところで、除夜の鐘や年越し蕎麦の前にやっておかなければいけないのが「大掃除」。新年の神様を迎えるため、自分の部屋や職場を徹底的に、普段はやらないような箇所も掃除します。

正月は、日本人の多くが家族や親戚とゆっくり過ごします。そこで家族らと一緒に楽しむ遊びの1つに「かるた」があります。遊び方は簡単で、1人が読み札を読んで、他の人がそれに対応した取り札を取る速さを競い、最終的に取得した枚数で勝敗を決めるというものです。

かるたの題材には色々ありますが「いろはかるた」が古典的で有名です。読み札には、現代の「あいうえお」五十音に当たる「いろは47文字」に対応したことわざが書かれ、取り札には読み札のことわざに関連した絵と、ことわざの最初の文字が大きく書かれています。かるたでは小さな子どもでも、何度も遊ぶうちに文字やことわざが覚えられます。皆さんもかるたで遊びながら日本語を学んでみてはいかがでしょうか。自分たちでかるたを作ったり、書店等に行っかるたを探してみるのもいいでしょう。